

# 弘濟寺がわふ版

第100号

令和5年1月1日発行  
弘濟寺 玉野千永編集  
弘西寺131 0465(04)1717  
弘濟寮寺 棟素

新年明けましておめでとーございませう  
本年もよろしくお願ひいたします

## 卯

30年前、弘濟寺お檀家の皆様は「お寺にお嫁さんが来るらしい。いったいどんなお嫁さんだろう？」と、大きな不安と小さな期待に包まれたことと思

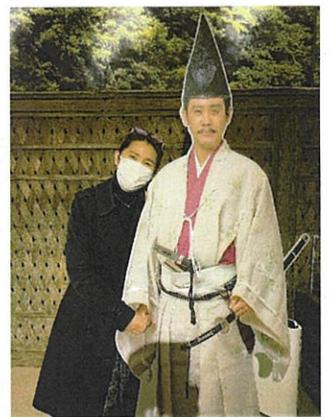
います。それがこの私でした。仏壇もない分家からお嫁に来て、30年。色々なことがございました。そして、皆様の不安が的中したか？少しの希望に答えられたか？は、わかりませんが、こうして突拍子もない切り口からのがわら版も100号まで書き続けることができました。皆様からのお力添えに、感謝申し上げます。

さて、結婚30周年を迎えまして、留守番を任せられる跡継ぎもできましたので、住職と九州へ旅してきました。今年、うさぎ年だし「うさ」繋がりで関係があるかもしれない、由緒ある宇佐神宮に参拝してまいりましたので紹介します。宇佐神宮は大分県宇佐市にある神社です。鎌倉の鶴岡八幡宮をはじめ、日本全国に

4万社以上もある八幡さまの総本宮で、1300年の歴史を誇ります。早朝の澄んだ空気の中、森のようにどこまでも広がる境内地に一歩足を踏み入れると、清らかでなんとも心地よい空気に包まれました。



境内に設置された神主さんとお坊さんが挨拶しているちょっと面白い看板



パネルの鎌倉殿と筆者

八幡さまはその昔、戦争の罪を悔いて、日本で最初に神仏習合を説いたという歴史があります。多くに源氏は氏神として篤く信仰し、それが後に

に全国に広まったといわれています。「鎌倉殿の13人」の最後でも北条義時が「それにしても血が流れすぎた」と後悔していたように、今も昔も、神様も仏様も私達も、平和な世を望む気持ちばかりかかわらないと思います。木々の緑の中に堂々と鎮座されている朱色の眩しい本宮の前で、他の神社とは違う、二拝四拍手一拝という参拝スタイルで、笑顔で平和に過ごせる毎日でありますようにとお祈りしました。

ところで、宇佐神宮がうさぎと関係があるかも？という説を調べると、二拝四拍手一拝という参拝方法が出雲大社と同じであることから、因幡の白兔伝説との関係性があげられています。登場するうさぎがウサ氏でワニは和爾氏、つまり氏族間の争いを、隠れた意味にもたせたお話だと、ネット上でヒットした時、なんだかロマンを感じました。

今年、うさぎ年。今より少しだけ上を目指して前に進める年になりますように。

宝来 300円 (切絵師えいちゃん作)



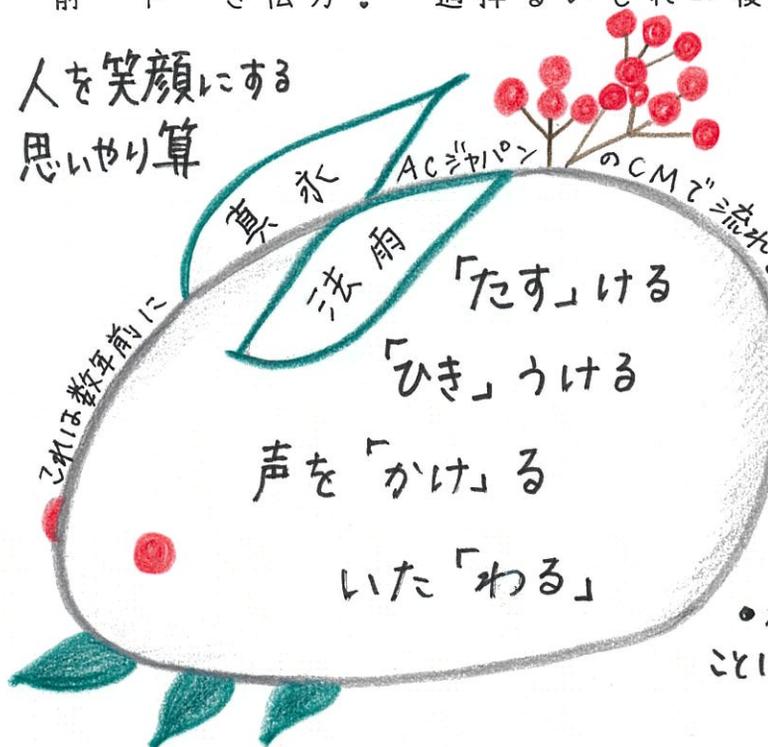
「宝来」は「新鮮な気持ちと吉祥が続きますように」と高野山で床の間や神棚、玄関などにしめ縄の代わりに1年間飾られる縁起物です。絵柄は

干支のうさぎ

「瑞」新しく、清らか、めでたい

の2種類あります。数に限りがあるのでお早めにお求めください。

人を笑顔にする  
思いやり算



- たす(十)・・・「たすけあう」ことよって、大きな力が発揮されまう
- ひく(-)・・・「ひきうける」ことよって、互いに喜びがわきまう
- かけ(x)・・・「声をかける」ことよって、いかにひとつになります
- わる(六)・・・「いたわる」ことよって、心が柔かみまう

# 智慧の風が吹き抜けるお寺に

～<sup>そら</sup>宙を舞う経典 <sup>はんじや</sup>般若の<sup>ぼんぷう</sup>梵風そよぐ～



宝蔵院の広い収蔵庫に山積みされる版木

この度皆様にご案内をさせていただきました、<sup>だいほんじや</sup>大般若波羅蜜多經（<sup>だいほんじやきょう</sup>大般若經）へ多くのご奉納ありがとうございます。このお経本、実は一枚一枚手摺り印刷されている貴重な物なのでご紹介させていただきます。「大般若經」は、西遊記で有名な三蔵法師こと玄奘三蔵が、往復三万キロ、十七年の歳月をかけてインドより中国に持ち帰り、四年をかけて漢文に翻訳した全六百巻に及ぶ膨大な数の経典です。その経典が日本に伝わり布教のために伝わった場所のひとつが京都府宇治市にある宝蔵院です。一昨年ちょうど宝蔵院にて「手摺り印刷見学ツアー」が開催されていたので、行ってまいりました。

そこには江戸時代の大般若經を含むお経の<sup>はんぎ</sup>版木※1が約六万枚収納されていました。そのうちの48,275枚が重要文化財に指定されています。

※1 版木とは印刷のために文字や絵画などを反方向きに刃物で彫った板のこと

暗く広々とした宝蔵院の収蔵庫（写真上）は図書館のようで、上から見下ろすとよくわかりますが、この周りの棚の上に置いてあるのが版木です。六万枚という気が遠くなる版木が並んでいます。階下では摺師さんが版木にインクをつけて、黄色い紙をのせ、一枚一枚バレンで刷って仕上げている様子が見られました（写真左下）。印刷すると、その場がインクの香りで満たされ、小学生の頃の図工の時間を思い出しました。刷り上がったお経を見せていただくと、見覚えのある形、なんとこれは、今でも使われている原稿用紙のルーツなのだそう



摺師さんが1枚1枚丁寧にバレンで摺る1階の作業場

です（写真右下）今まで、何も知らずに、江戸時代に出来上がった原稿用紙に作文を書いていたのです。それにしても何故真ん中が空いているのか謎でしたが、この空欄にお経の巻数が入ることが、今やっとわかりました。重要文化財にも指定されている、版木ですので、摩耗を防ぐため、昨年とうとう手刷り印刷の作業が終了となりました。今

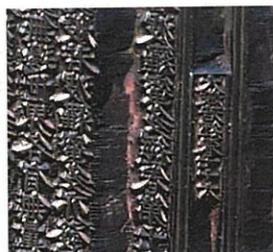


原稿用紙のルーツとなった経本用紙  
同時に今では新聞や書類には欠かせない、文字である「明朝体」もここから普及しました。明朝体は筆書きのスタイルをもとに作られています。これは画数の多い漢字を小さめに使っても黒くつぶれにくいという特徴があり、縦書きにはとても向いている書体なのだそう。

◆ご奉納◆

大般若經	二巻（表裏）	一万円
経唐櫃	一箱	五万円

願事・お名前を入れ奉納させていただきます  
お気軽にお問合せください（74-1717）



版木の拡大

**みほとけガチャポン**

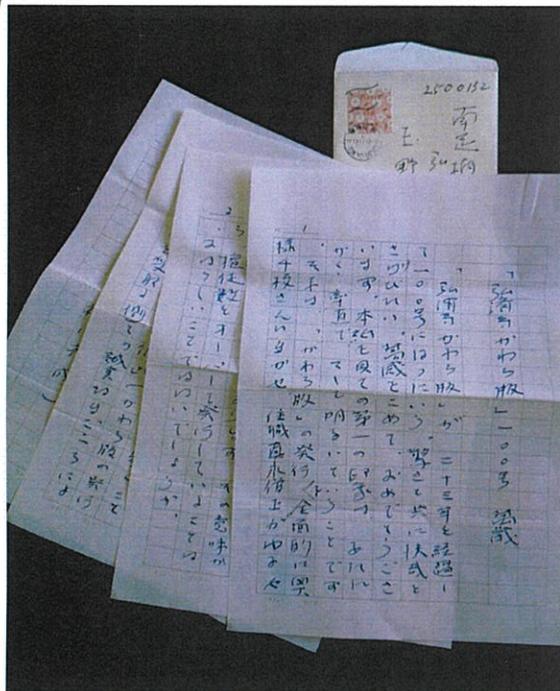
長らくお待たせしていました坊さん玩具工房 天野こうゆうさん制作の弘濟寺名物 縁起物 みほとけガチャポン。元旦より本堂前に設置します。7体のみほとけにはそれぞれ有難い功德が！初詣は500円玉を沢山握りしめて弘濟寺へGO！

令和5年元旦 弘濟寺 一回 500円



記念すべきかわら版1号

記念すべきかわら版第1号は 平成11年7月の地蔵まつり報告の壁新聞でした。その後5年ほどは壁新聞が続き、平成16年頃から今の形に近いかわら版の配布を始めました。最初からあるシリーズは「大黒のお茶の間ですよ」と「真永法雨」です。企画ものは「弘濟寺の佛さん」でした。その後いろいろ企画を組み今に至ります。



ご寄稿くださったお手紙

三年ほど前に、ご縁を頂いた真言教学の大先生である福田亮成先生のお寺(上野成就院)にお伺いする機会がございました。それ以来、勝手に弘濟寺かわら版を送らせていただいています。この度100号発行に際し激励のお言葉を頂きましたのでご紹介させていただきます。

「弘濟寺かわら版」一〇〇号 萬歳

「弘濟寺かわら版」が二十三年を経過して一〇〇号になったという、驚きと共に快哉をさげびたい。萬歳をこめて、おめでとうございませう。本紙を見ての第一の印象は、あたたかく、率直で、そして明るいということ。それは「かわら版」の発行を全面的に奥様千枝さんにまかせ、住職真永僧正がゆるやかに見守っているというところから、それが自然に紙面にあらわれているのではないでしょう。それに紙面の全体が手書きであることに驚きを隠せません。

現代社会は「家」の意識が崩れてしまったと言われて久しいものがあります。これからは「家」から離れた個人に焦点をあわせたよびかけが求められております。その意味から、檀徒数をオーバーして発行していることは、すばらしいことではないでしょうか。

お大師さまの言葉に  
「一歩拍を成さず 片脚步むこと能わず」

必ず彼此の至誠によって すなわち感応を致す」とあります。

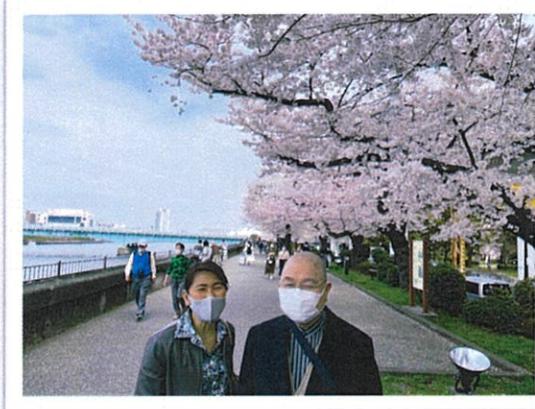
片手では拍手ができず。片足では歩くことが困難です。ですから彼此(かわら版の発行とそれを受取る側との)誠実なまごころによってこそ、心に感じこたえることができるのです、ということでありましょう。この言葉のとおり「かわら版」にそれを見ることができません。それが「かわら版」発行されつづけてゆく力となるに違いありません。

編集長、がんばれ!!  
弘濟寺、がんばれ!!  
そしておめでとうございませう。

一読者 福田亮成



年に5回。福田先生がかわら版の感想をお届けくださいます。もうこんなにたくさん頂戴しました。かわら版を書き始めて、毎回これほど嬉しいことはありません。



「せっかく上野まで来たのだから」と福田先生が隅田川沿いの桜並木を案内してください。その後浅草寺へ

福田亮成先生プロフィール

昭和十二年、東京に生まれる。東洋大学文学部仏教学科卒業。  
現在、大正大学名誉教授、種智院大学客員教授、川崎大師教学研究所所長。文学博士。真言宗智山派成就院長。著書に『理趣経の研究』その成立と展開(国書刊行会)、『空海思想の探究』(大蔵出版)、『空海要語辞典(特)』(弘法大師が出会った人々)(以上、山喜房佛書林)、『新・弘法大師の教えと生涯』(弘法大師の手紙)、『コトバのまんだら(1~4)』(以上、ノンブル社)ほか多数。弘法大師著作の現代語訳も数多く手がける。

## 今後の予定

1月1日	6時	修正会	本堂にて今年一年の「無事」を祈願いたします
1月1日	10時	元旦護摩	皆様の家内安全を護摩祈願しております どうぞ護摩堂の中で一緒に手をおあわせください
1月4日		年始廻り	例年より訪問時間が1時間ほど遅くなりそうです
1月21日	14時	厄除け 新春護摩	厄年早見表参照〈祈禱料五千円〉の上 お申込みください(別日希望の方は要相談) 交通安全、試験合格等も祈願いたします
1月22日	14時	初地蔵	令和4年の新仏供養になります。それ以外の方でも先祖供養をご希望の方はお問合せください 2年間の修理を終えたお地蔵さんが本堂でお迎えします <span style="color: red;">檀徒以外の方もお参りできますので、お問い合わせの上お申し込みください</span>
1月29日	8時	境内清掃	(予備日2月5日) 今年の当番は苅野上・弘西寺・福泉です よろしくお願ひします
2月15日	14時	涅槃図 絵解き	昔の人は涅槃図から生きるヒントを 学んできました。仏教に触れることが 少なくなった今、弘濟寺でお釈迦様の 教えに触れてみませんか？
7月23日		地蔵まつり	奉修復地蔵菩薩開眼大般若転読法要を予定しておりますお 楽しみに

### 月行事

- ◎ 毎月21日 午前6時より朝のお勤め会 一緒に朝活しませんか(お経と法話約30分)
- ◎ 毎月21日 午前10時より月例護摩祈願 護摩札 五千円 護摩木 三百円
- ◎ 毎週水曜日 ヨーガ教室 10時~本堂にて(1回1000円) 1月11日よりスタート
- ◎ 月第2水曜日 タピボン教室 13時半~客殿にて(1回1000円) 1月11日、2月8日、3月8日

### 令和五年 厄年早見表

	前厄	本厄	後厄
男 性	23歳 平成12年生	24歳 平成11年生	25歳 平成10年生
	40歳 昭和58年生	41歳 昭和57年生	42歳 昭和56年生
	59歳 昭和39年生	60歳 昭和38年生	61歳 昭和37年生
女 性	17歳 平成18年生	18歳 平成17年生	19歳 平成16年生
	31歳 平成4年生	32歳 平成3年生	33歳 平成2年生
	59歳 昭和39年生	60歳 昭和38年生	61歳 昭和37年生

レストラン  
**マジェール**

★法事用特別コース  
4,000円  
4名様より(個室完備)

☎82-0335  
開成町宮台63(シャトレゼ向い)

Pasta & Cafe  
**MAJEAL**  
Everyday Enjoy more "E" zone  
マジェール ~since1995~

有限会社 **勝又**

南足柄市飯沢 12-10  
☎(0465) 74-2306

---

ご贈答品のご用命は  
**足柄ハリカ**

南足柄市飯沢 51-4 火曜定休日  
TFI (0465) 74-5221